

学校だより

はす

ぬま

ちゅう

かがみ

蓮沼中鏡

平成28年度 第15号
平成28年12月8日発行
大田区立蓮沼中学校
校長 大原章博

学校と家庭を考える

2学期を終えようとしている今、本校にも解決すべき課題があります。その中には、学校だけで解決しようとしてもできないこともあります。解決には、家庭や地域の協力、「家庭の教育力」が必要になる場合も少なくありません。そこで、今号では学校と家庭の役割について考えてみました。

☆学校で身に付く力☆

学校では、学習指導要領に基づき、生徒の思いを大切にしながら、どの生徒にも分かりやすい授業を行うよう努力しています。生徒は身についた知識を、将来いろいろな場面で活用できるような「生きる力」を学んでいるのです。

少子化に伴い、異学年同士のかかわりが減ったこともあり、子供同士のコミュニケーション能力が低下していると言われています。人との距離をうまく保てず、相手の気持ちを想像することが苦手な生徒が増えています。学校では、各教科や総合的な学習の時間、特別活動において、道徳教育と密接な関連を図りながら、子供たちの発達に合わせて、人や社会とのかかわり方や命の尊さ、規範意識についても教えています。

また、外食産業が進み、簡単に食事が手に入る便利な時代に、私たちが軽視しがちな「食育」についても、子供たちが生涯にわたって健やかに生きていくことができるよう、その基盤を作るために、学校では給食や各教科を通じて食にかかわる教育を行っています。

さらに、生徒の間では、スマートフォンをはじめとする新たな機器の普及により、SNSによる誹謗中傷などのトラブルが起きています。このような状況から、学校でも情報教育を重視し、学校ルールを生徒会中心に作り直しました。

☆家庭が学校と連携してほしいこと☆

学校で学んだことを家庭につなげていくことで、「家庭教育力」が効果を発揮すると考えています。

家庭でも、毎日気持ちの良い挨拶が交わされたり、家族を思いやり、仲間意識を育て、相手の気持ちに立って物事を考えられたりできるように、普段から子供と接していくことが大切です。

また、家庭では、三大栄養素がそろったバランスの良い食事づくりを心掛けていただき、保護者がスマートフォンやインターネット利用の正しい知識を身につけ、生徒と一緒に話し合い、家庭ルールを作っていただきたいと思えます。

☆家庭の教育力に期待☆

「家庭の教育力」を向上させるには、どの家庭でもできる「日常の親子の会話を大切にする」ことだと思います。学校から帰ったら学校での出来事を聞いたり、ごはんを食べるときにこれからのことを話題にしたり、交友関係を聞いたりするだけでもよいと思うのです。家庭での日常の会話を少し工夫するだけでも「家庭の教育力」は上がると思います。そしてこのような会話から家庭での絆もさらに深まるのではないのでしょうか。

生徒を愛し、日々の小さな頑張りを誉め、心穏やかに子供たちの気持ちに寄り添うことで、家庭が常に心地よい場所であってほしいのです。そして、学校の教育環境と学校が抱える諸問題を知り、話し合い、家庭と学校、そして地域が共通の問題意識をもち、解決の糸口を探ることで、地域全体に生徒が安心して生活できる環境が整っていくのではないのでしょうか。そうすれば生徒にとって安全基地となる家庭、地域が築かれ、困難なことにも挑戦できる勇気や自己肯定感が湧いてくると思えます。

繰り返しになりますが、生徒の教育は学校だけで施されるものではありません。むしろ家庭こそが生徒の成長の基盤であり、健やかな育ちのよりどころなのではないのでしょうか。

◇ 3学年面接講座と面接練習 ◇

1月9日(水)に私立高校3校の先生と都立大森高校の校長先生を本校に招いて、3年対象に面接講座を行いました。私立高校の先生方には、教室で面接試験の受け方をご指導いただき、何人かの生徒で模擬面接を行いました。大森高校の校長先生からは、都立高校における面接や集団討論の観点などについて講演をしていただきました。いよいよ、3年生は入試という大きな壁が近づいているのです。

今後は、校長・副校長による面接練習及び個別指導が始まります。この面接講座で学んだことを活かして、面接練習に臨んでほしいものです。そのためにも次のことを準備しておくことが大切です。

- ① 志望校の志望理由を具体的かつ簡潔に述べられるようにしておく。
- ② 中学校時代の思い出について、印象に残ったことと理由を明らかにしておく。
- ③ 将来の進路について具体的に考えて、自分の言葉で話ができるようにしておく。

東京都中学校駅伝大会結団式

1月4日(日)に、来年2月5日(日)に味の素スタジアムで行われる東京都中学校駅伝大会の大田区選抜チームの結団式が池上会館にて行われました。

今回の大会には、本校からも中澤啓介(2A)、佐藤允希(2A)の2名が代表として大会に参加します。

なお、中澤君は男子チームのキャプテンに任命され、堂々と決意の弁を述べていました。

当日の活躍を祈り皆で応援していきましょう。



大田区立中学校PTA連合協議会 球技大会



1月27日(日)に大森スポーツセンターで大田区立中学校連合PTA協議会の球技大会、卓球の部が行われました。

予選リーグ(南六郷・羽田・出雲)を1位で通過し、Bブロック1位リーグに進出しました。ここでは、矢口中と大森二中とリーグ戦方式で対戦し、2勝1敗となり、惜しくも決勝に進出することができませんでした。最終成績は昨年と同様、21校中3位という成績でした。

中学校間の親睦を深めるとともに、試合を通じてよい汗をかくことができた1日となりました。

区教職員バドミントン

1月11日(金)に本校で教職員バドミントン大会1回戦の試合を行いました。対戦相手は相生小でした。忙しい中、時間を作って先生方は練習しました。その甲斐あって、接戦を制し、ゲームカウント2-1で、2回戦進出を果たしました。

2回戦は、1月29日(火)に蒲田小学校で行われましたが、ゲームカウント1-2で敗退となりました。

夕方6時過ぎからの試合にもかかわらず、出場した先生方のほかにも多くの先生方の応援があって楽しく試合を行い、よい親睦の機会となりました。

保護者の皆様へ

体罰等実態調査についてのお知らせ

これまで本校としては、「生徒とともに歩む教師」「生徒の良さを引き出す教師」「理解と誠実さで対応する教師」等を、目指す教師像として、全教職員で協力し生徒一人一人を大切にする教育を進めてきました。さらに保護者の皆様の御協力を得て、「安全な学校」「規律ある学校」づくりに取り組んできています。

今回も、学校として、体罰や暴力のない楽しい学校生活づくりを目指し、生徒に「暴力はいけないこと」について講話を行い、各学級では、楽しく学校生活を送ることができるようにするために、生徒にアンケート調査を行いました。

各家庭においても、お子様の声に耳を傾け、学校生活における出来事などについて話し合う機会をもつとともに、人を大切にすることや暴力はいけないということについて御確認の上、何かお子様について心配なことがあれば、いつでも、どんなことでも学校に御相談くださるよう改めてお願いいたします。